

ASL を含む MRI 画像の脳血管障害に対する診断能評価研究

1. 研究の対象

2003 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に当院で MRI を撮像された方

2. 研究目的・方法

この研究の目的は、脳動静脈奇形（AVM）という脳の血管の異常を診断する際に MRI 検査の一つである ASL がどのくらい役に立つかを調べることです。ASL は造影剤を用いない検査方法です。将来的により体への負担が少ない検査で正確な診断ができるようになることを目指します。

この研究では、過去に当院で AVM などの脳血管の病気が疑われ、通常の診療として ASL を含む MRI 検査を受けた方の検査画像と診療情報を使います。ASL を含む MRI の画像を放射線科の医師が見て AVM が疑われる所見があるかを判定します。その結果を診療で行われた脳血管造影検査（DSA）の結果と比べることで、ASL が AVM の診断に役立つかどうかを評価します。

研究実施期間：研究実施許可日～2036 年 3 月 31 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 3 月 2 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田県秋田市本道 1-1-1

018-884-6179

秋田大学大学院医学系研究科放射線医学講座

門間 爽汰

研究責任者：

秋田大学大学院医学系研究科放射線医学講座 森 菜緒子

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽瀨 友則